

コロナ禍後には「セルフメディケーション」を生かせる

世界で536万人の人が感染し34万4千人もが亡くなり、いまも感染者と死者が増え続けている新型コロナウイルス感染症。日本では4月7日に発表された緊急事態宣言が5月25日に全面解除されたものの、新型コロナウイルスの脅威は去っていない。感染第2波、第3波との厳しい闘いはこれからも続く。患者本位の医療を第一に掲げ、

いまこそ必要なのは「自利利他」の精神

コロナ禍に医療はどう対応するか



真鍋院長 患者さんやご家族から、既製品のマスクや防護服だけでなく、手作りの布製マスクを頂いたり、食堂を経営している人から感謝のお弁当を頂いたりもしました。地域との結びつき、地

「自利利他」の精神は、元からの応援を強く感じ、医療従事者としての喜びと責任を改めて自覚させられた。当院の理念は、仏教の「自利利他(他人を幸せにすることが、そのままと自分の幸せになる)」の精神にあり、分りやすい言葉で「思いやりの心」です。

その素晴らしい温かさ、大切さを、コロナ騒動で私たち自身が地域の皆さんから学ばせていただきました。町づくりとは、それぞれが力を出し合い、お互いを思いやり、支え合っている人から感謝のお弁当を頂いたりもしました。地域との結びつき、地

ある町を築いていくには、外国人の患者さんを受け入れられる体制を整えられたのです。当院には、英語1級中国語1級の2人の医療通訳士がいます。他の言語にも対応できる環境を整えています。

射水市(富山県の人口は日本人が9万人、外国人は2700人)のことで、外国人居住者の比率が非常に高くなっています。外国から来た人にとって、言葉の通じる病院が近くにあることは、とても重要なことではないでしょうか。

真鍋院長 そうだとはいえます。真生会が目指すのは、自利利他の精神に基づいた安心満足の医療です。通訳スタッフも採用し、さらに交流の輪が広がる

朝と夜外来を行う全国でも珍しい病院。国境を越えた大きな理念に基づく病院運営なのです。他に真生会病院さんには、どのような院長がおられますか?

真鍋院長 真生会の特色は、小規模な病院でありながら、それぞれ専門分野を持った医師が揃っていて、どんな患者さんにも柔軟に対応できる点だと思います。先ほどご紹介した眼科の館医師だけでなく、心療内科の明橋大二医師も、全国的な活躍をしています。

著作も多く、子供たちへの精神医療のあり方を方向付けるような、非常に評価の高い仕事をしています。そういう医師が当院には他に幾人もお

医療法人 真生会 真生会富山病院 真鍋恭弘院長に聴く

特別インタビュー

いち早く病院外に「発熱外来」設置

「コロナ問題対策として、今、真生会富山病院さんではどのような取り組みがなされているのでしょうか?」

真鍋院長 4月中旬から、病院の外にプレハブの「発熱外来」を設けました。コロナ感染が疑われる患者さんと一般の患者さんとを分けるためです。この取り組みは県内でも早かったため、テレビのニュースにも取り上げられました。

「感染を心配し、病院へ行くのをためらわれている患者さんには、どのように対処なさっていますか?」

真鍋院長 最近の人はメールを使い慣れていて、こうした対応も喜ばれました。コロナに対して速やかに対応できたのは、当院に感染症専門の医師と看護師がいたため、体制の整備や職員教育に尽力してくれました。また様々な職種スタッフがそれぞれの立場で力を発揮してくれておかげでもあります。

「コロナ禍での地域からの支援に感謝」

真鍋院長 真生会富山病院の全貌。たくさんの外来診療科を設置し、中規模病院ながら富山県ではトップクラスの外来患者数を誇る

また、普通一般の病院は、午前中しか外来診療をしません。だから患者さんは、仕事を休まないで病院へ行けません。当院は、仕事帰りに病院へ帰れるような夜の外来も受け付けています。朝と夜、外来をやる病院は、全国でも珍しいと思います。

「セルフメディケーション」

真鍋院長 真生会が目指すのは、自利利他の精神に基づいた安心満足の医療です。通訳スタッフも採用し、さらに交流の輪が広がる

真鍋院長 最近気になるのは、コロナ感染の心配からか、体調が悪くても家でじっと我慢してしまい、救急車で運ばれてきて、手術が必要となるケースが増えたことです。コロナとの闘いはまだまだ続くと言われている。あまり我慢せず、適切な時期に受診していただくことが大切です。

「感染を心配し、病院へ行くのをためらわれている患者さんには、どのように対処なさっていますか?」

真鍋院長 最近の人はメールを使い慣れていて、こうした対応も喜ばれました。コロナに対して速やかに対応できたのは、当院に感染症専門の医師と看護師がいたため、体制の整備や職員教育に尽力してくれました。また様々な職種スタッフがそれぞれの立場で力を発揮してくれておかげでもあります。

「コロナ禍での地域からの支援に感謝」

真鍋院長 真生会富山病院の全貌。たくさんの外来診療科を設置し、中規模病院ながら富山県ではトップクラスの外来患者数を誇る

また、普通一般の病院は、午前中しか外来診療をしません。だから患者さんは、仕事を休まないで病院へ行けません。当院は、仕事帰りに病院へ帰れるような夜の外来も受け付けています。朝と夜、外来をやる病院は、全国でも珍しいと思います。

「セルフメディケーション」

真鍋院長 真生会が目指すのは、自利利他の精神に基づいた安心満足の医療です。通訳スタッフも採用し、さらに交流の輪が広がる

真鍋院長 最近気になるのは、コロナ感染の心配からか、体調が悪くても家でじっと我慢してしまい、救急車で運ばれてきて、手術が必要となるケースが増えたことです。コロナとの闘いはまだまだ続くと言われている。あまり我慢せず、適切な時期に受診していただくことが大切です。

「セルフメディケーション」

真鍋院長 真生会が目指すのは、自利利他の精神に基づいた安心満足の医療です。通訳スタッフも採用し、さらに交流の輪が広がる

真鍋院長 最近気になるのは、コロナ感染の心配からか、体調が悪くても家でじっと我慢してしまい、救急車で運ばれてきて、手術が必要となるケースが増えたことです。コロナとの闘いはまだまだ続くと言われている。あまり我慢せず、適切な時期に受診していただくことが大切です。



富山県射水市にある医療法人真生会・真生会富山病院の全貌。たくさんの外来診療科を設置し、中規模病院ながら富山県ではトップクラスの外来患者数を誇る



真生会富山病院ではメディアで紹介されるほど、いち早く院外に発熱外来を設置した

でまだまだと見せられました。しかし、こうした「自利利他」の精神が大切だと皆さんが気づくことを願っています。

「自利利他」の精神が大切だと皆さんが気づくことを願っています。